

聴覚障害者団体・手話関係団体

◎沼津市聴覚障害者の会

◎沼津市手話通訳者の会

◎沼津市手話サークル若葉友の会



Proud NUMAZU

手話講習会（手話奉仕員養成講座）

沼津市役所障害福祉課では、手話と聞こえないことについて学習する講座を開いています。

お問い合わせ

沼津市役所 障害福祉課

〒410-8601

静岡県沼津市御幸町16番1号

電話：055-934-4830

FAX：055-934-2631

mail：syohuhuku@city.numazu.lg.jp



沼津市ホームページ
「手話の普及促進」



知ってください
聞こえないこと
手話のこと

沼津市は手話言語条例を施行しています



発行：沼津市

協力：沼津市聴覚障害者の会 沼津市手話通訳者の会
沼津市手話サークル若葉友の会

沼津市

はじめに

～誰もが自分らしく、お互いを思いやり、ともに生きるまち めまづ～

大切なことば「手話」

聞こえる人が自然に音声を使った言葉で話をするように、聞こえない人（ろう者）たちは、手や指、体の動き、表情などで見て分かる「手話」という言葉を使って考え、表現し、会話をしています。

手話は、聞こえない人たちが守り、育んできた、大切な言語なのです。

このパンフレットは、市民の皆さんに「聞こえないというのはどういうことだろう？」「手話ってなんだろう？」ということを考え、理解を深めていただくために作成しました。

ぜひ、手話や聞こえないことについて知ってください。そして、障害のある人もない人も、ともに暮らしやすい社会を作っていきましょう。



沼津市手話言語条例

沼津市では、令和2年4月1日に「沼津市手話言語条例」を施行しました。

この条例は、すべての人が地域で安心して生活できる共生社会の実現を目指し、手話が言語であるという認識に基づいて、市民・事業者・行政が力を合わせ、手話や聞こえないことに対する理解を促進し、手話が使いやすい環境を作っていくことを定めています。



沼津市手話言語条例は、令和2年3月19日、議員発議により提案され、成立しました（令和2年4月1日施行）。

《共生社会の実現に向けた役割》

■市の責務

手話や聞こえないことに対する理解を広め、手話の普及や手話を使いやすい環境づくりのための施策を講じます。

■市民の役割

手話や聞こえないことに対する理解を深め、手話を使用しやすい環境づくりに努めましょう。

■事業者の役割

手話の使用に配慮するなど、ろう者等が使用しやすいサービスの提供や、働きやすい職場環境づくりに努めましょう。

聞こえない人とのコミュニケーション

聞こえない人の中でも、聞こえ方の程度やコミュニケーション方法はさまざまです。本人が希望するコミュニケーション方法をとることが大切です。

- ①手話：手や指、体の動きや表情などを使って視覚的に表現する言葉です。
- ②筆談：ノートやメモ帳などに文字を書いて、伝えあいます。
- ③口話(こうわ)：口を大きくはっきり開けて話す方法です。聞こえない人は、相手の口の形を読み取ります。
- ④空文字(そらもじ)：空間に字の形を書いて伝えます。
- ⑤要約筆記：話している内容（音声）を要約して文字にし、伝えます。
- ⑥触手話(しょくしゅわ)等：聞こえない人の中には、目が見えにくい人もいます。その場合は、手話を触ったり、手のひらに書いたりして伝えあいます。



聞こえない人とのコミュニケーションの際には、相手に話の内容が正しく伝わっているか、内容を正しく理解しているかどうか、確認しながら話を進めることが大切です。

また、連絡手段としては、ファックスや電子メールを利用します。

コミュニケーションを支援する人

手話通訳者：日本語を手話に、手話を日本語にして通訳する人のことです。聞こえない人と聞こえる人のつながりを支援する仕事です。

要約筆記者：話している内容（音声）を要約して文字にし、伝える人のことです。紙などに文字を書いて伝える方法、パソコンなどを使ってスクリーンに文字を映し出して伝える方法などがあります。



体験発表を通訳する手話通訳者（沼津市「障害者週間」市民の集い）

研修・講演会や会議、面談などを行うときは手話通訳者・要約筆記者を配置するようご配慮ください。

沼津市役所障害福祉課では、派遣の依頼を受け付けています。

こんなとき、あなたならどうしますか？

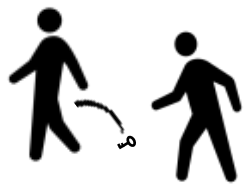
聞こえに障害のある人たちには、聞こえないことや、障害があることが見た目ではわかりづらいことなどで、さまざまな困りごとがあります。

次のような場面に遭遇したとき、何ができるか考えてみましょう。「聞こえない人なのかもしれない」と意識してみてください。そのためにも、聞こえない人がどんなことに困っているかを知ることが大切です。

まちで…

前を歩いている人がカギを落としました。

後ろから「カギが落ちましたよ」と声をかけましたが、その人は振り向かず歩いて行ってしまいました。



聞こえない人かもしれません

その人の肩をたたいて教えたり、前に回ってカギを差し出して知らせたりしてください。

聞こえない人は、外見では障害があることがわかりません。そのため、声をかけられても気づかず「無視している」と誤解されてしまうことがあります。

電車で…

急に電車が止まりました。「人身事故のため、緊急停止しました。このままお待ちください」と放送がありました。

何が起きたのかわからず不安そうな顔をしている人がいます。



聞こえない人かもしれません

紙に文字を書く、スマートフォンに入力するなど、見てわかる方法で伝えてください。

聞こえない人は、音によっての周囲の状況が判断できません。そのため、音声アナウンスなどに気が付かないことがあります。

運転中…

せまい道を走っているとき、前を歩いている人が危ないのでクラクションを鳴らしましたが、一向によける気配がありません。



聞こえない人かもしれません

近くにいる人が前に回って知らせてください。車であればパッシングなどをして、光で知らせる方法もあります。

聞こえない人には、後ろからくる車のクラクションや、自転車のベルがわかりません。

お店で…

レジで会計をするとき、店員のあなたが「レジ袋は必要ですか？」と声をかけましたが、返事がありません。



聞こえない人かもしれません

レジ袋の表示を指さす、実物を見せる、紙に書くなど、目に見える方法で伝えてください。ホワイトボードなどをレジに備えておくとスムーズです。

会社で…

聞こえない人がお昼のチャイムに気づかず仕事をしていたり、ひとりでお昼ご飯を食べたりしていませんか？



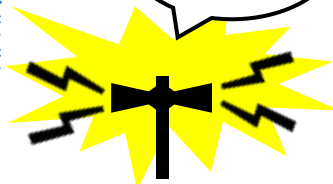
お昼のチャイムが鳴ったら、身振りや時計を指さすなどして知らせてください。

聞こえない人は、みんなが何を話しているかがわからず、輪に入りにくいと感じていることがあります。通じ合えるよう手話や筆談などで、話しかけてください。

災害が起こったとき…

① 近所に聞こえない人が住んでいます。

市の同報無線で「大津波警報が発令されました」と放送が流れました。



同報無線やラジオがわからないので逃げ遅れてしまう可能性があります。津波が来ることを知らせに行ってください！

② 避難所に聞こえない人も避難していますが、物資の到着などが放送でしか知らされません。



避難所では、放送の内容や情報を紙やボードに書いて表示しましょう。周囲の人は放送があったら内容を知らせましょう。



手話を覚えよう、使ってみよう!

手話は、手指の動きだけでなく、表情や動作の大きさが大切です。

身近な言葉から始めてみましょう

わたし



人差し指で、自分のことを指さす

あなた



人差し指で、相手のことを指さす

お名前は何ですか?



左手の手のひらに右手の親指をあてる



右手の人差し指を立てて左右に軽く振る

わかる



右手の手のひらを胸の中央にあて、胸に沿ってまっすぐおろす

わからない



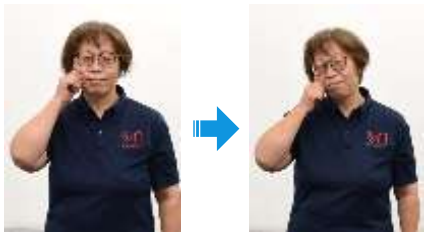
甲を前に向けた右手を下から上にはらう

~できる



右手の甲を前に向け、自分の方に曲げた指先を左胸、右胸の順にあてる

~できない (むずかしい)



右手の親指と人差し指で、右のほほを軽くつねるようにする

よく使う手話のあいさつ

おはよう (朝 + あいさつ)



右手のこぶしをこめかみのあたりにあて、おろしながら頭を起こす



両手の人差し指を向かい合わせて同時に曲げる



こんにちは (昼 + あいさつ)



手のひらを前に向け、交差した両手を扇型に左右に開く



元気



両肘をはり、胸の前で向き合わせた両こぶしを同時に2回おろす

こんばんは (夜 + あいさつ)



手のひらを前に向けた両手を、顔の前で左右から内側に扇型に交差させる



おつかれさま



左腕を右手のこぶしの小指側で2回たたく

ありがとう



右手を左手の甲に軽くあて、右手をあげてから頭をさげる

よろしくお願いします



右手こぶしを鼻の前でかまえ、開きながら前に倒し、頭をさげる